

- ◆ **今週のコメント** (感染地域、感染経路については推定を含みます。)
- ・ **侵襲性インフルエンザ菌感染症**の報告が1例(60歳代女性1例)(第47週追加報告分)あり、症状は頭痛、発熱、嘔吐、菌血症、副鼻腔炎です。感染地域は国内で、感染経路は飛沫・飛沫核感染です。本年の累積報告数は7例となりました。
  - ・ **侵襲性肺炎球菌感染症**の報告が3例(70歳代及び80歳代男性各1例、30歳代女性1例)ありました。本年の累積報告数は67例となりました。
  - ・ **百日咳**の報告が3例(10歳代女性2例、20歳代女性1例)(第47週追加報告分含む)あり、いずれも感染地域は国内で、感染経路は不明です。本年の累積報告数は72例となりました。
  - ・ **インフルエンザ**の定点当たり報告数は0.39(27例)、全国では0.93となり、15の府県で流行入りの目安とされる1.0を超えています。近畿では大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県で1.0を超えました。
  - ・ **伝染性紅斑**の定点当たり報告数が、京都市、全国共に、前週と比べて増加(京都市は0.21から0.42、全国は0.65から0.87)しました。いずれも先週に続いて本年度で最も高い値を更新しています。

◆ **今週のトピックス: <後天性免疫不全症候群(HIV)>**  
日本国内における平成29年の\*HIV感染者及び\*\*AIDS患者の新規報告件数は、HIV感染者が976件、AIDS患者が413件で、両者を合わせて1,389件となっており、平成18年以降、年間約1,500件前後の横ばい状態で推移しています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ **発生状況**

全数把握の感染症

- ・ **二類: 結核 3例**(肺結核 なし、その他結核 1例、潜在性結核感染者 2例)うち喀痰塗抹陽性 なし  
【1月以降の累積報告数 315例(肺結核 143例、その他結核 73例、潜在性結核感染者 99例)うち喀痰塗抹陽性 71例】
- ・ **五類: 侵襲性インフルエンザ菌感染症 1例**【1月以降の累積報告数 7例】
- ・ **五類: 侵襲性肺炎球菌感染症 3例**【1月以降の累積報告数 67例】
- ・ **五類: 百日咳 3例**【1月以降の累積報告数 72例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69、小児科定点43、眼科定点10、基幹定点1)

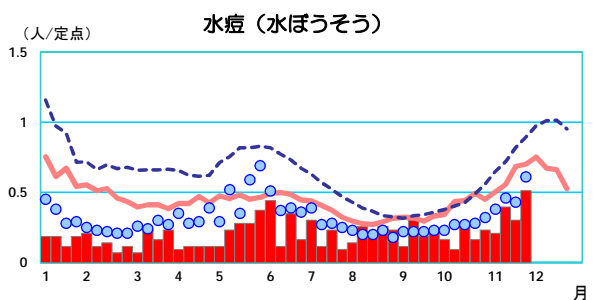
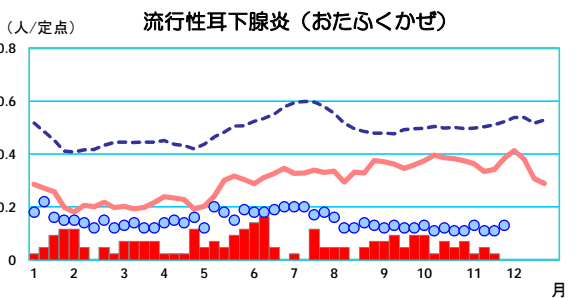
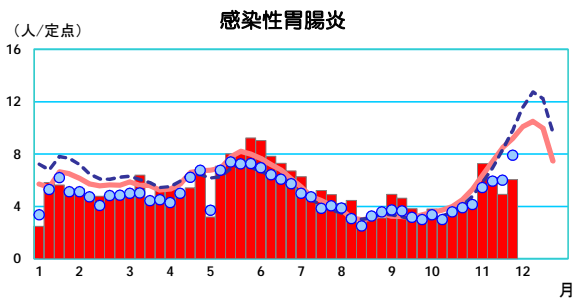
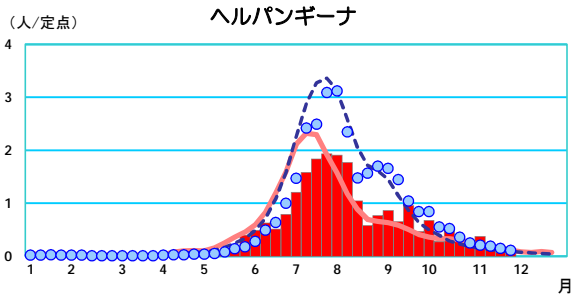
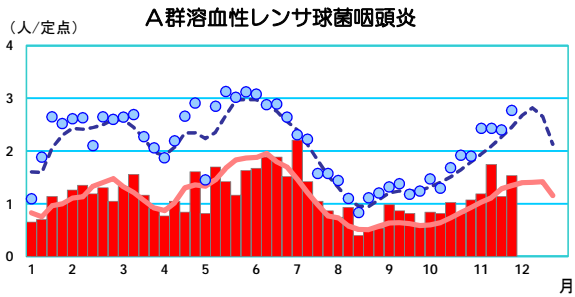
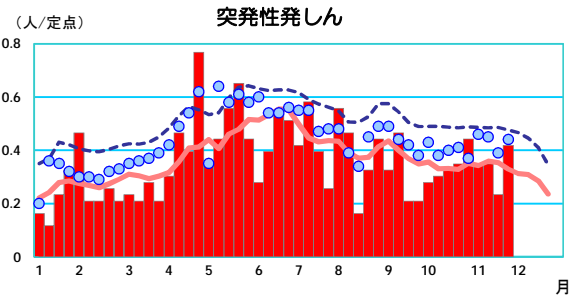
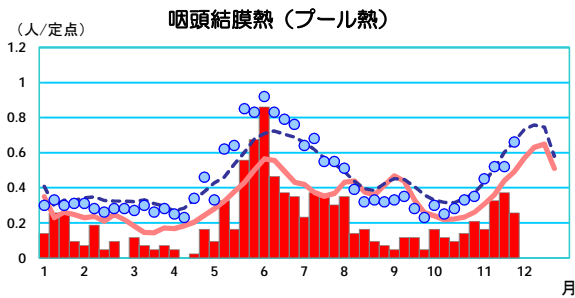
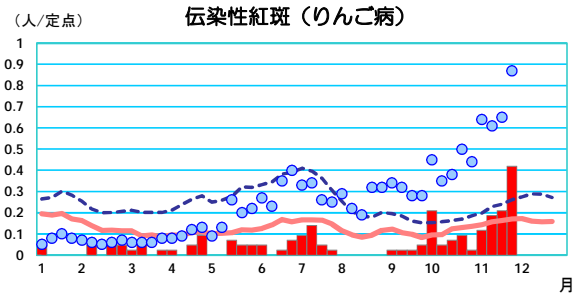
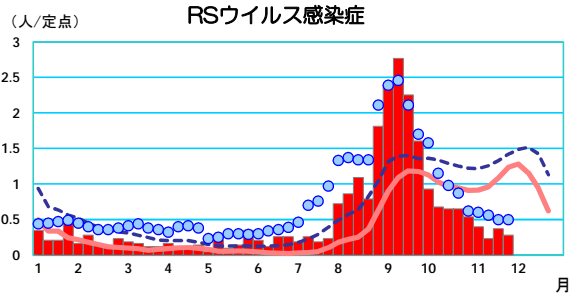
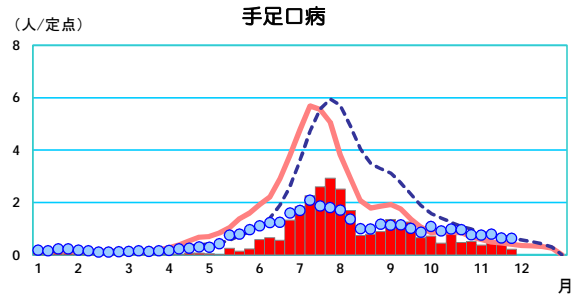
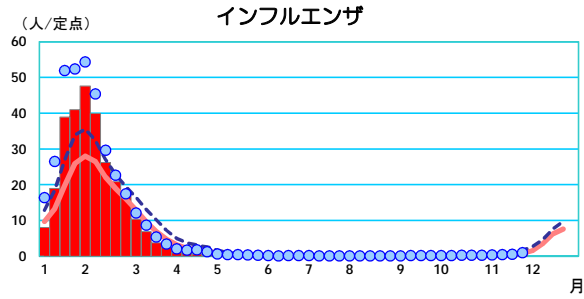
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.39	27
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	6.05	260
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.53	66
	③ 水痘	0.51	22
	④ 伝染性紅斑	0.42	18
	④ 突発性発しん	0.42	18
眼科	流行性角結膜炎	0.10	1

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <後天性免疫不全症候群(HIV)>  
付表(疾病、行政区別報告数 / 年齢階級、疾病別報告数 / 週、疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、平成30年12月5日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。  
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。  
※ 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

# インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成30年）



## 第48週(11月26日～12月2日)トピックス: <後天性免疫不全症候群>

日本国内における平成29年の後天性免疫不全症候群(\*HIV感染者及び\*\*AIDS患者)の新規報告件数は、HIV感染者が976件、AIDS患者が413件で、両者を合わせて1,389件となっており、平成18年以降、年間約1,500件前後の横ばい状態で推移しています(図1 棒グラフ)。一方、京都市は平成29年のHIV感染者が10件、AIDS患者が9件の合わせて19件、また、本年は今週までHIV感染者が12件、AIDS患者が5件の合わせて17件となっており、平成18年頃から概ね15～25件の範囲で推移しています(図2 棒グラフ)。

また、平成18年以降のHIV感染者及びAIDS患者を合わせた新規報告数に占めるAIDS患者比をみると、日本国内では約30%(図1 折れ線グラフ)、本市のAIDS患者比も概ね30～40%台(図2 折れ線グラフ)と、依然高い比率のまま推移しています。後天性免疫不全症候群は、現在では治療薬や治療法の進歩により、HIVに感染しても適切な治療を受けることで、AIDSの発症が抑えられるようになりました。以前のように「HIV感染＝死」ではなく、HIVに関する正しい知識の普及とともに、感染の早期発見・早期治療を行うことが、感染拡大防止と新規報告数の減少に繋がると考えられます。

WHO(世界保健機関)は世界レベルでのエイズのまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を目的に、毎年12月1日を「世界エイズデー」に制定し、世界各国でエイズに関する啓発活動を行っています。京都市でも同日に、街頭啓発キャンペーンを行いました(下記ホームページ参照)。

HIVは感染しても初期症状はほとんどないので、感染しているかどうかは検査を受けないと判明しません。京都市では、HIV検査を性感染症検査(梅毒、りん菌、クラミジア)と併せて、無料で実施しています。詳細については、下記ホームページを御覧ください。

\*HIV感染者 : HIVに感染し、無症候性キャリアとして報告されたもの、または何らかの症状はあるがAIDSの診断基準を満たさないもの

\*\*AIDS患者 : AIDSと診断されて発症が届けられたもの(すでにHIV感染者として報告されているものがAIDSを発症する等病状に変化を生じた場合は除く。)

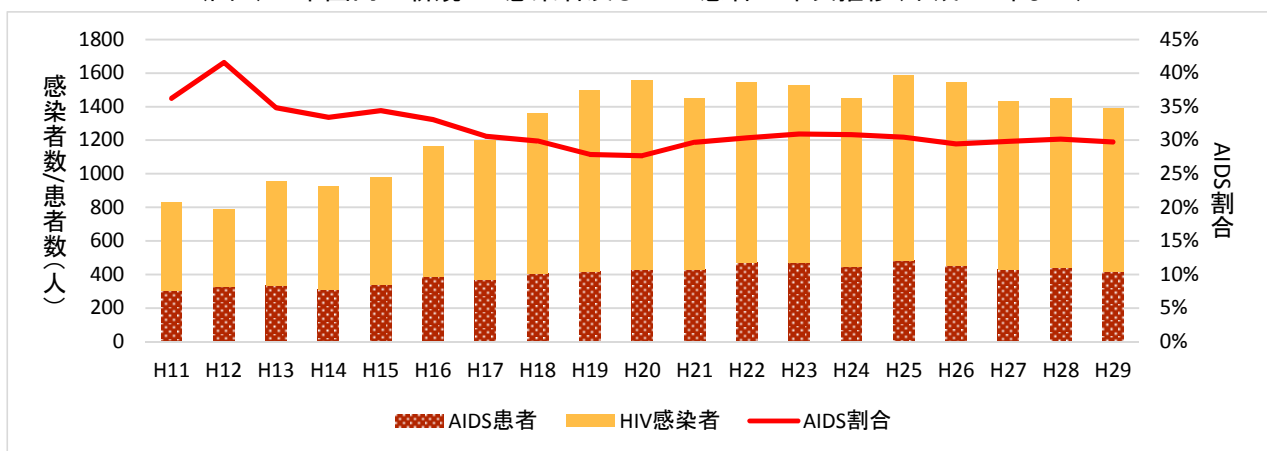
【平成30年度「京都市世界エイズデー街頭啓発キャンペーン」を実施します！】

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000245354.html>

【京都市のHIV検査について(平成29年度から検査体制を変更しました。)]

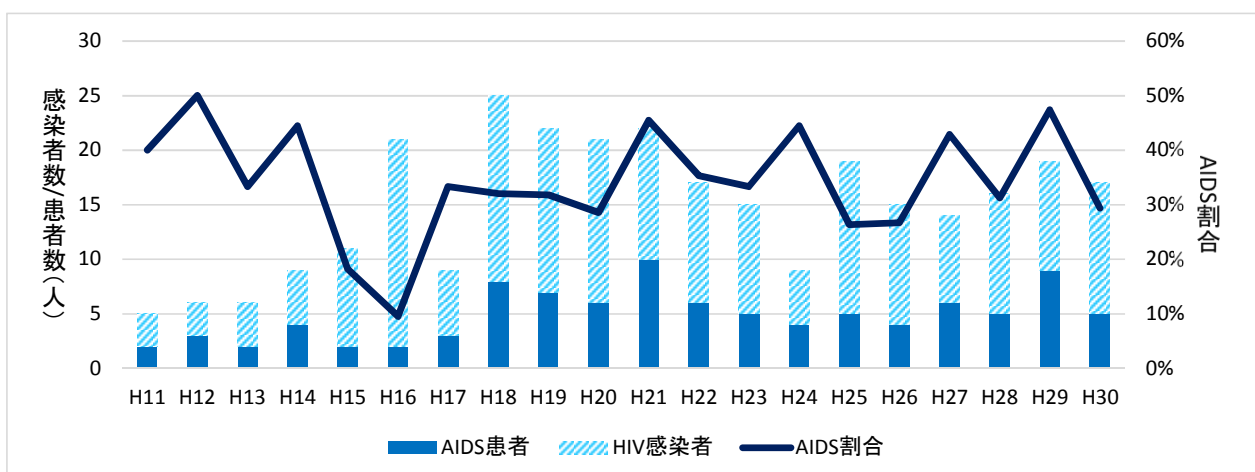
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000047908.html>

(図1) 日本国内の新規HIV感染者及びAIDS患者の年次推移(平成29年まで)



「平成29(2017)年エイズ発生動向-概要-」([http://api-net.jfap.or.jp/status/2017/17nenpo/17nenpo\\_menu.html](http://api-net.jfap.or.jp/status/2017/17nenpo/17nenpo_menu.html))をもとに作成(平成30年12月3日閲覧)

(図2) 京都市の新規HIV感染者及びAIDS患者の年次推移(平成30年第48週まで)



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第48週

疾病,行政区別報告数

平成30年11月26日～平成30年12月2日

データ入手日:平成30年12月5日

	インフルエンザ（※1）	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎（※2）	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（※3）	感染性胃腸炎（※4）
男女合計																		
北	1	-	1	1	5	-	-	1	-	-	-	-	-					
上京	2	-	1	3	10	2	1	-	-	-	-	-	-					
左京	-	4	3	10	37	6	-	-	2	-	-	-	-					
中京	4	1	-	8	16	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	2	-	-	-	17	-	-	-	1	-	-							
山科	-	1	-	5	5	-	-	1	3	1	-	-	1					
下京	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-							
南	3	1	-	1	24	1	-	-	-	-	-							
右京	10	1	4	16	41	1	-	1	5	1	-	-	-					
伏見	1	2	1	15	84	7	5	5	6	2	-	-	-					
西京	3	2	1	7	20	5	3	9	-	-	-	-	-					
京都市計	27	12	11	66	260	22	9	18	18	5	-	-	1	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ（※1）	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎（※2）	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（※3）	感染性胃腸炎（※4）
男女合計																		
北	0.14	-	0.25	0.25	1.25	-	-	0.25	-	-	-	-	-					
上京	0.40	-	0.33	1.00	3.33	0.67	0.33	-	-	-	-	-	-					
左京	-	1.00	0.75	2.50	9.25	1.50	-	-	0.50	-	-	-	-					
中京	0.80	0.33	-	2.67	5.33	-	-	0.33	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	0.67	-	-	-	8.50	-	-	-	0.50	-	-							
山科	-	0.20	-	1.00	1.00	-	-	0.20	0.60	0.20	-	-	1.00					
下京	0.33	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-							
南	0.60	0.33	-	0.33	8.00	0.33	-	-	-	-	-							
右京	1.25	0.20	0.80	3.20	8.20	0.20	-	0.20	1.00	0.20	-	-	-					
伏見	0.09	0.29	0.14	2.14	12.00	1.00	0.71	0.71	0.86	0.29	-	-	-					
西京	0.38	0.40	0.20	1.40	4.00	1.00	0.60	1.80	-	-	-	-	-					
京都市計	0.39	0.28	0.26	1.53	6.05	0.51	0.21	0.42	0.42	0.12	-	-	0.10	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第48週

年齢階級, 疾病別報告数

平成30年11月26日～平成30年12月2日

データ入手日:平成30年12月5日

京都市	年齢1 年齢2 年齢3 年齢4	総数 総数 総数 総数	～5ヶ月 ～5ヶ月 ～5ヶ月 0歳	～11ヶ月 ～11ヶ月 ～11ヶ月 1歳-	1歳 1歳 1歳 5歳-	2歳 2歳 2歳 10歳-	3歳 3歳 3歳 15歳-	4歳 4歳 4歳 20歳-	5歳 5歳 5歳 25歳-	6歳 6歳 6歳 30歳-	7歳 7歳 7歳 35歳-	8歳 8歳 8歳 40歳-	9歳 9歳 9歳 45歳-	10歳- 10歳- 10歳- 50歳-	15歳- 15歳- 15歳- 55歳-	20歳- 20歳- 20歳以上 60歳-	30歳- 30歳- 30歳- 65歳-	40歳- 40歳- 40歳- 70歳以上	50歳- 50歳- 50歳- 70歳以上	60歳- 60歳- 60歳- 70歳以上	70歳- 70歳以上 70歳以上	80歳以上
男女合計	年齢1	27	-	-	-	-	1	1	1	-	-	1	3	5	-	5	4	2	3	-	-	1
インフルエンザ (※1)	年齢3	12	-	3	4	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
RSウイルス感染症		11	-	-	2	2	2	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		66	-	-	1	-	5	8	8	5	10	12	4	10	1	2	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		260	2	15	38	35	26	19	22	18	10	13	5	26	6	25	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎		22	-	-	-	1	1	2	3	3	2	5	-	5	-	-	-	-	-	-	-	
水痘		9	-	-	3	1	1	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
手足口病		18	-	-	1	1	1	3	3	2	2	1	-	2	1	1	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑		18	-	5	8	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん		5	-	-	3	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
急性出血性結膜炎		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-		
流行性角結膜炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
男女合計	年齢4	総数	0歳-	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ (※1)	年齢1	0.39	-	-	-	-	0.01	0.01	0.01	-	-	0.01	0.04	0.07	-	0.07	0.06	0.03	0.04	-	-	0.01
RSウイルス感染症	年齢3	0.28	-	0.07	0.09	0.07	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-						
咽頭結膜熱		0.26	-	-	0.05	0.05	0.05	0.09	-	-	-	0.02	-	-	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.53	-	-	0.02	-	0.12	0.19	0.19	0.12	0.23	0.28	0.09	0.23	0.02	0.05						
感染性胃腸炎		6.05	0.05	0.35	0.88	0.81	0.60	0.44	0.51	0.42	0.23	0.30	0.12	0.60	0.14	0.58						
水痘		0.51	-	-	-	0.02	0.02	0.05	0.07	0.07	0.05	0.12	-	0.12	-	-						
手足口病		0.21	-	-	0.07	0.02	0.02	0.07	0.02	-	-	-	-	-	-	-						
伝染性紅斑		0.42	-	-	0.02	0.02	0.02	0.07	0.07	0.05	0.05	0.02	-	0.05	0.02	0.02						
突発性発しん		0.42	-	0.12	0.19	0.07	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ		0.12	-	-	0.07	-	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-					
流行性耳下腺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第48週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成30年12月5日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	2	4	13	13	22	27
RSウイルス感染症	28	23	17	10	16	12
咽頭結膜熱	6	9	7	14	16	11
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	35	46	51	75	49	66
感染性胃腸炎	186	175	313	267	212	260
水痘	7	10	9	17	13	22
手足口病	20	22	16	21	20	9
伝染性紅斑	4	1	5	8	9	18
突発性発しん	15	19	15	15	10	18
ヘルパンギーナ	16	8	16	8	3	5
流行性耳下腺炎	2	3	1	2	1	—
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	8	6	4	4	4	1
細菌性髄膜炎 (※2)	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—
クラミジア肺炎 (※3)	—	—	—	—	—	—
感染性胃腸炎 (※4)	—	—	—	—	—	—
合 計	329	326	467	454	375	449

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	0.03	0.06	0.19	0.19	0.32	0.39
RSウイルス感染症	0.65	0.53	0.40	0.23	0.37	0.28
咽頭結膜熱	0.14	0.21	0.16	0.33	0.37	0.26
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.81	1.07	1.19	1.74	1.14	1.53
感染性胃腸炎	4.33	4.07	7.28	6.21	4.93	6.05
水痘	0.16	0.23	0.21	0.40	0.30	0.51
手足口病	0.47	0.51	0.37	0.49	0.47	0.21
伝染性紅斑	0.09	0.02	0.12	0.19	0.21	0.42
突発性発しん	0.35	0.44	0.35	0.35	0.23	0.42
ヘルパンギーナ	0.37	0.19	0.37	0.19	0.07	0.12
流行性耳下腺炎	0.05	0.07	0.02	0.05	0.02	—
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	0.80	0.60	0.40	0.40	0.40	0.10
細菌性髄膜炎 (※2)	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—
クラミジア肺炎 (※3)	—	—	—	—	—	—
感染性胃腸炎 (※4)	—	—	—	—	—	—
合 計	8.25	8.01	11.05	10.75	8.84	10.28

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。